

ときわの風

同窓会支部活動報告

支部第一号「TOKIWAおんぶの会」

2010年3月14日の定例幹事会において、同窓会の支部として承認された「TOKIWAおんぶの会」(常磐大学吹奏楽団OB会)から演奏会の模様を報告してもらいました。

◆◆◆◆◆
TOKIWAおんぶの会では、去る2010年11月28日(日)、水戸市民会館において、常磐大学吹奏楽団と常磐短期大学吹奏楽部のOBによる演奏会である、常磐大学吹奏楽団「同奏会2010」を開催しました。卒業生による同窓会のような演奏会ができればという想いから、「同奏会」を名付けられたこの演奏会は、2004年、2007年に続き、今回で3回目の開催となります。

当日は、R・グリエール作曲のバレエ音楽「青銅の騎士」や、「サウンド・オブ・ミュージックメドレー」など学生時代に演奏した思い出の曲や、おなじみの名曲などを2部構成で演奏し、約250名の方々にご来場いただきました。

本会では、創立以来、会員のみによる単独の演奏会や、吹奏楽コンク



ルへの出場、現役学生との合同演奏会など、さまざまな演奏活動を行ってきましたが、2004年に創立20周年を迎えるにあたり記念のイベントを検討する中で、「会の枠組みを超えて、学生時代の仲間たちと吹奏楽を楽しみたい」「懇親会などで学生時代の仲間たちと再会するだけでは物足りない」といった意見があり、これらを踏まえて計画されたのが、「同奏会」でした。このコンセプトが参加者等からは思いのほか好評で、「また参加したい」という要望に応える形で回を重ね、定着していったわけですが、これ以外にも、例えば、子育て中の方でも参加しやすいよう、練習時には託児室を設けたり、またしばらく吹奏楽から遠ざかっていた方でも参加しやすいように、少なくとも半年以上前から練習を開始したりと、「誰でも気軽に参加できる」環境や雰囲気があったことも、大変重要であったと思います。

今回の「同奏会2010」でも、過去2回と同様、県内外を問わず(北は北海道、南は長崎県から参加がありました)、卒業後も吹奏楽を続けている「現役バリバリ」の若手メンバーから、落ち行く気力や体力と闘いながら必死に取り組む創立時のメンバーまで、幅広い世代の个性的な面々「64名」が集まり、各々が、学生時代の仲間たちや音楽にかける思いを、練習の成果とともに出し切つて、楽しく演奏することができました。さらに今回は、参加者のご子息(中学生)が特別参加したことで、初の親子共演が実現するなど、貴重な機会を共有することができ、参加者にとっても、本会にとっても、大変有意義な「同奏会」となりました。



また、当日は10名の卒業生が裏方のスタッフとして駆けつけ、演奏会を支えてくれました。このように、演奏面から運営面(裏方)まで、すべて卒業生の手で行われているのも「同奏会」の大きな特長と言えるのではないのでしょうか。

なお、過去2回の「同奏会」では、ひたひたなか市文化会館を会場にしていましたが、今回の「同奏会2010」は、会場を水戸市民会館に移しての開催となりました。水戸市民会館は、常磐大学吹奏楽団の第1回定期演奏会を開催した会場でもあり、創団時のメンバーにとつては、感慨深い演奏会となったようです。演奏会終了後は、水戸プラザホテルに場所を移し、反省会と懇親会を兼ねた本日の「同奏会」を行いました。会場では、練習時のエピソードや、当日の演奏の反省、学生時代の思い出など、さまざまな話題で盛り上がり、学生時代の仲間たちと旧交を温める絶好の機会となりました。(TOKIWAおんぶの会事務局・人間科学部第13期卒 長南直宏)

同窓会支部設立のQ&A

常磐大学同窓会(以下「同窓会」という。)設立20周年を記念し、常磐大学同窓会支部細則が2007年5月26日の幹事会において承認、制定されており、支部は以下の目的で設立するものとす。

- ～申請書類の提出～
- 申請書類の提出
- 同窓会事務局(以下「事務局」という。)による書類審査
- 同窓会幹事会(以下「幹事会」という。)による審査
- 代表者への承認通知

1. 支部設立の目的
- 常磐大学同窓会会則第21条に定めるとおり、支部は以下の目的で設立するものとす。
- ① 会員相互の親睦を図る。
 - ② 同窓会の活動の活性化を図る。
 - ③ 常磐大学の発展に寄与する。

2. 支部設立単位
- 支部は以下の単位で申請することができます。また支部設立時に必要な会員数は、()内のとおりです。
- ① 都道府県(10名以上)
 - ② 卒業年度(20名以上)
 - ③ ゼミナール(20名以上)
 - ④ サークルその他、幹事会が認めたもの(20名以上)

- ただし、いずれも同窓会の会員であることが必要です。
3. 申請方法
- 支部の設立申請にあたっては、下記の書類を事務局宛に郵送ください。
- 【申請項目】
- ① 支部設立願「様式第2号」
 - ② 支部員名簿「様式第3号」
 - ③ 支部規程
 - ④ 支部事業計画「様式第4号」

- ※ 各様式は、同窓会ホームページよりダウンロードすることができます。(URL: <http://www.tokiwa.ac.jp/dosokai/>)
4. 経費補助
- 支部の活動の活性化を図るため、支

部設立および運営に際して生じる必要経費に対し、同窓会より5万円を上限とした経費補助を受けることができます。経費補助を受けるためには、経費補助を受けようとする年度の前年度の12月15日までに、次の書類を事務局に提出しなければなりません。

経費補助申請書類

- ① 必要経費申請書「様式第5号」
- ② 見積書
- ③ その他、幹事会が必要と認める書類。

右記書類の提出を受け、事務局が審査を行い、幹事会で承認を得たのち経費補助金が支給されます。なお、経費補助金の支給は、原則として毎年度4月末日までに行われます。

※ 経費補助の使途が次の事項に該当する場合には、幹事会が、支部長と協議の上、補助経費の一部あるいは全部を返還させることがあります。

1. 申請した目的以外に、使用したと認められる場合
2. 補助金の執行が申請内容と著しく異なること認められる場合
3. その他、幹事会により返還の必要があると認められる場合

5. 支部設立後の義務について
- 支部の設立後は、毎年4月末日までに、次の書類を事務局に提出しなければなりません。
- ① 前年度事業報告書「様式第4号」
 - ② 前年度支部決算書「様式第5号」
 - ③ 当年度事業計画書「様式第4号」
 - ④ 当年度支部予算書「様式第5号」
 - ⑤ 支部員名簿「様式第3号」
 - ⑥ その他事務局が必要と認めた書類
- ①～⑥の各様式について、支部において作成した任意の様式がある場合は、改めて作成する必要はありません。
- 【問い合わせ先】
- 常磐大学同窓会事務局
Email: dosokai@tokiwa.ac.jp

2010年度 体育会活動報告(春季)

硬式野球部

部長：千葉敦先生
監督：石川清一
部員数：41名

○関甲新学生野球春季リーグ

常磐大学	1-10	上武大学
常磐大学	0-1	上武大学
常磐大学	2-4	白鷗大学
常磐大学	7-1	白鷗大学
常磐大学	3-0	白鷗大学
常磐大学	3-8	関東学院大学
常磐大学	3-1	関東学院大学
常磐大学	5-4	関東学院大学
常磐大学	6-0	作新学院大学
常磐大学	0-6	作新学院大学
常磐大学	4-15	作新学院大学
常磐大学	3-2	山梨学院大学
常磐大学	4-1	山梨学院大学
7勝6敗	5位	

剣道部

部長：小澤 聡先生
部員数：27名

○第56回関東学生剣道選手権大会

川崎	2回戦敗退
山形	2回戦敗退

○第42回関東女子学生剣道選手権大会

丸山	2回戦敗退
嶋岡	2回戦敗退
石川	2回戦敗退
助川	2回戦敗退

バドミントン部

部長：粕谷雄二先生
部員数：27名

関東学生バドミントン春季リーグ	男子5部(6部中5部)	
常磐大学	2-3	北里大学
常磐大学	2-3	千葉工業大学
常磐大学	3-2	東京電機大学
常磐大学	4-1	東京工芸大学

常磐大学	2-3	電気通信大学
2勝3敗	5部残留	
○水戸市民大会		
(男子1部)		
渡部・西脇	優勝	
(男子3部)		
織本・佐野	準優勝	

○関東学生バドミントン選手権大会

西脇	5回戦敗退
(Bブロック8)	ベスト4
渡部	4回戦敗退
(Bブロック)	ベスト8
織本	1回戦敗退
吉田	1回戦敗退
大月	1回戦敗退
佐野	1回戦敗退
橋本	1回戦敗退
牧野	1回戦敗退
(女子シングルス)	
柏	2回戦敗退
小澤	2回戦敗退
川上	1回戦敗退
山本	1回戦敗退
海老原	1回戦敗退
武藤	1回戦敗退
(男子ダブルス)	

弓道部

部長：佐藤環先生
部員数：20名

○第41回全関東学生弓道選手権大会

男子団体戦	9中	予選敗退
(常磐大学Aチーム)	9中	
(常磐大学Bチーム)	6中	
(混合Bチーム)	2中	

※右記4部以外にも体育会各活動しています。応援よろしくお願ひします。

MESSAGE 大学は永遠の心のふるさと

あれから十一年がたちました。コミュニティ振興学部の創設メンバーの一人として本学に赴任して初めての夏のことでした。新潟県奥阿賀地方に調査に出掛けた際に、役場の男性職員の一人がここに話しかけてくれました。人間科学部の卒業生でした。常磐の先生が来ると聞いて、見ず知らずの私を待っていてくれたのです。卒業生や先生の多いマンモス大学だと、こはいかないでしょう。水戸で学んだことを支えに、地域ののためにがんばっている姿を目の当たりにして、頼もしく思いました。同時に、中規模大学のよさを感じたのです。卒業生一人ひとりがそれぞれの

立場で活躍してくれば、大学の評判がよくなる。大学の評価が高まれば、卒業生の母校への誇りも一段と高まる。OB・OGと大学とは、Win-Winの関係にしたいものです。ただ、長い人生、絶好調のときもあれば、失意のときもあるでしょう。私の前職は新聞記者。他紙と抜きつ抜かれつの毎日、翌日には全国の読者に結果がわかってしまう因果な商売でした。第一線の時代、特ダネをとったのはわずかで、抜かれることの方が多かったように思います。うれいとき、悲しいとき、どちらであっても気分が高揚していると、母校に行きたくなりました。

私にとって出身大学は紛れもなく心のふるさとでした。昼間は仕事がありますから、訪れるのはほとんど夜です。当時は夜間も出入り自由でした。一人でベンチに腰掛けていると、大学時代の楽しかったことや、学友の顔が次々に浮かんできました。地方勤務時代にも、東京本社での会議の帰途に立ち寄りたりしたものです。支局での駆け出し時代に任地を離れて上京し、構内を歩いていたら、大学紛争を取材中の先輩記者と鉢合わせしたこともありました。



コミュニティ振興学部教授 学部長
井上 繁 先生
早稲田大学第一政治経済学部政治学科卒業。専門：地域づくり、地域政策。日本都市学会理事。地方自治経営学会理事。

2010年度 学生支援事業報告

◇「ときわ祭」への援助金 5万円

◇同窓会長賞受賞者

(表彰式2010年12月3日)

〔2010年度春セミナー受賞者〕

同窓会長賞(記念品・電子辞書)

国際学部英米語学科(4年)

西村 奈都美さん

(英検1級合格)

※ 同日常磐大学「学長奨励賞」

受賞者(10名)に対し、同窓会

より記念品として特製ボールペ

ンが贈呈されました。

開学100周年記念事業 募金へのお礼

開学100周年記念事業募金へご寄付を賜り、誠にありがとうございました。本学では、諸澤幸雄奨学金制度を創設し、その充実および継続的運営を目的に募金を開始しました。この間、多くの皆様方よりご寄付を賜りました。かさねて御礼申し上げます。

本学では、この制度をより充実させるため、引き続き募金の受付をしております。まだご賛同を頂いていない方におかれましては、ぜひとも募金の趣旨をご理解頂き、ご寄付を賜りますよう、衷心よりお願い申し上げます。

学校法人常磐大学
寄付資産運用課
TEL. 029-1232-2759

2011年度総会・懇談会のご案内

日程 2011年6月11日(土)

場所 総会：常磐大学O棟センターホール

懇談会：O棟力フェラヴァツァ

皆様お誘い合わせの上、ぜひご出席ください。日程が近くなりましたら、ハガキにてご案内を差し上げます。

ご結婚された方

池上里佳さん(旧姓坪井)

人間科学部14期

池上亮さん

人間科学部16期

江森友里江さん(旧姓篠塚)

人間科学部18期

掲載文募集

同窓会事務局では、会報「ときわの風」に掲載する会員の皆さまからの投稿を募集しています。日々の雑感・近況報告などをお寄せください。(編集の都合上)

800字程度でお願いします。なお、掲載された方には、薄謝進呈いたします。

「送付先」〒310-8585 常磐大学同窓会事務局 または、dosokai@tokiwa.ac.jp

編集後記

常磐大学の卒業生は1万人を超え、そのうち同窓会の会員は現在8,236人。日本中あるいは世界中に常磐大学を母校に持つ仲間がいるのは何やら頼もしい気持ちになる。